

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
アサヒロジ株式会社	代表取締役社長	児玉 徹夫	東京都	運輸業	https://www.alogi.co.jp

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新: 2023年2月3日

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号		取組項目	取組内容
1	A	①	物流の改善提案と協力	運送事業者から待機時間や付帯作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じると共に、自らも積極的に解決にあたります。
2	A	③	パレット等の活用	ビール・飲料業界各社が参画するPパレ共同使用会での活動を加盟社と連携して取組み、一貫パレチゼーションを推進します。
3	B	①	運送契約の書面化の推進	得意先・運送事業者双方との契約書面化を、引き続き推進します。
4	C	①	契約の相手方を選定する際の法令遵守状況の考慮	契約する運送事業者を選定する際には、関係法令の遵守状況を考慮します。
5	D	①	荷役作業時の安全対策	自社運転者の安全確保はもとより、自社物流拠点における積卸時の労働災害防止環境の整備に努めます。
6	D	②	異常気象時等の運行の中止・中断等	台風・豪雨・豪雪等の異常気象発生が見込まれる際には、無理な運送依頼を行いません。また、運転者の安全確保のため、自ら責任をもって、運行中止・中断等の判断を行います。
7	F	①	トラック輸送における生産性の向上・物流効率化	25mダブル連結トラックの活用や自動運転の研究、幹線中継輸送などの取組みを推進し、輸送生産性向上、CO2排出削減、ドライバー長時間労働削減、労働環境改善に努めます。
8	F	②	協調連携スキームの推進	物流事業者との相互車両活用・相互荷量提供を通じ、往復荷量の獲得、空車・低積載区間の削減、繁閑の車両活用向上など、双方の運行効率を高める取組みを推進します。
9	F	③	待機時間削減	物流平準化の推進と入出庫のダイヤ化などの取組みを推進し、トラックの待機時間を削減します。
10	F	④	運行効率の可視化及び、効率向上	トラック動態管理や運行管理システムを導入し、トラック及びトラックドライバーの運行効率を可視化します。また、物流ステークホルダーと連携し、その向上を図ります。
11	F	⑤	グリーン物流の取組み	燃料電池(FC)トラック技術実証への参画などを通して、グリーン物流の取組みを積極的に推進します。

PR欄
